



新政会
安楽 良幸

10月上旬の発達した低気圧および台風23号接近時における市の対応について

【質問】 10月上旬に来襲した発達した低気圧および台風23号により、本市は樹木、農産物、一部の家屋などに被害を受けたが、その際の市の対応で、①職員の呼集体制、②指揮所の開設時期・規模、③情報収集要領、④関係所掌との連携要領、⑤市長への報告時期・要領について伺う。

【答弁】 全般的に滝川市地域防災計画を準拠として対応しております。1日から2日にかけての対応ですが、①職員の呼集体制は、防災危機対策室および土木課職員の一部を市役所待機、他の職員には自宅待機の指示をしました。②指揮所の開設時期は、暴風警報が発表された1日午後4時26分、規模は防災危機対策室2人となっています。③情報収集要領は市民の通報や警察・消防からの情報を電話により

収集し、風が強くなった2日午前5時頃から土木課によるパトロールを開始し、情報収集および応急措置を実施して市民の安全確保に努めました。④関係所掌との連携については、内部は電話・メール、防災関係機関とはホットラインにより対応しました。⑤市長への報告時期・要領については、市長は出張中であつたため2日午前8時の被害状況を電子メールにて報告しています。

台風23号の対応については、①職員の呼集体制は、強風注意報であつたことから7日夜から8日朝にかけて、防災危機対策室職員を自宅待機としています。②指揮所の開設時期ですが、強風注意報であつたため、開設していません。③情報収集要領ですが、市によるパトロールと関係機関からの電話で情報収集を行いました。④関係所掌との連携は、前段の答弁のとおりです。⑤市長への報告時期・要領については、8日午後2時10分に倒木による市道の通行止めが発生したため、消防からの3件の出動報告と併せ、口頭で直接報告しています。



公明党
三上 裕久

組織機構改革について

【質問】 副市長の2人制について、財政健全に取り組まなければならない状況を考えると1人制に戻すべきと考えるが、今後どのように考えているのか伺う。

【答弁】 2人制が必要であれば、検討することもあり得ると考えています。

農業行政について

【質問】 農業の振興を図るために、市民に協力を求めることを盛り込んだ条例の策定と基本計画を策定すべきと考えるが見解を伺う。

【答弁】 農業ビジョンを策定後7年が経過し、農業を取り巻く環境の変化に対応した見直しを図ります。また、市民の役割や責務を盛り込んだ条例の改正は、今後、醸成を図ることで検討していきます。

いじめの現状について

【質問】 条例制定後のいじめの実態

について伺う。

【答弁】 平成26年度に条例を制定しましたが、制定前の25年度のいじめ認知件数が7件であつたのに対して、26年度は3件、27年度は6件でした。

【質問】 学校全体でいじめの未然防止・早期発見に取り組むための連携は、どのようなになっているのか伺う。

【答弁】 校長・教職員間で構成するいじめ事案に対するいじめ対策委員会を設置しています。いじめに関する通報相談による情報を担任任せにすることなく、学校全体で取り組み、未然防止・早期発見に努めています。

【質問】 いじめ防止専門委員会の具体的な取り組みを伺う。

【答弁】 大学教授・臨床心理士・滝川地区保護司会会長・滝川人権擁護委員会の4人で構成しており、年2回の会議で個別のいじめ事案のご意見を頂き、いじめ防止の取り組み・充実を図っています。

【質問】 条例に掲げる「重大事態」に該当する事案があつたのか伺う。

【答弁】 重大事態に該当する案件は、ありませんでした。